

The 46th JUACEP Seminar

第46回 名古屋大学日米協働教育プログラムセミナー

平成30年7月13日(金) 10:30~

221 講義室 (工学部2号館2階)

研究立案プロセスと論文の書き方

倉林活夫 教授 *JUACEP Coordinator*
Department of Mechanical Engineering
and Electrical Engineering & Computer
Science, University of Michigan



概要：研究立案には、問題の明確化、アプローチの選定、研究のインパクトの予想等のプロセスが必要となります。研究者としての成功は、研究発表の場や論文執筆の際に、いかに論理的に話の筋道を立てて情報を発信できるかにかかっています。このセミナーでは、そもそも工学系大学院教育においてなぜ研究活動が必要なのか、研究の基本的なプロセスをいかに身に着けるか、いかにインパクトのある研究論文を英文で書くことができるかということについて話を進めていきます。また、同時にミシガン大学工学部機械工学科の短い紹介も行います。

(講演言語：日本語)

略歴：1992年東京大学工学部精密工学科卒。1994年スタンフォード大学材料科学部修士号、1998年同大学Ph.D.取得。その後スタンフォード大学研究員を経て、2000年1月よりミシガン大学。現在の研究テーマは、生体・医療・環境分野の先端計測 マイクロ・ナノデバイス開発と基礎研究。これらの研究分野で5つの米国特許取得と80本以上の論文・著書執筆。2001年 NSF Early Faculty Career Development Award、2005年 Robert Caddell Memorial Award for significant joint graduate student/faculty research contributions from the University of Michigan、2007年 Pi Tau Sigma Outstanding Professor Award、2013年 the University of Michigan ME Outstanding Achievement Award など多数授賞。

Inquiry: JUACEP Office 日米協働教育プログラム (Ext. 2799)

JUACEP: Japan-US Advanced Collaborative Education Program, Graduate School of Engineering